

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
老年作業療法評価学演習		必修	1	2	後期(集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
榎田 哲弥	C308	t.enokida	木曜日 10:30~13:00		
授業の目的・概要	老年期の作業療法の評価を展開するうえで必要となる生理学的、老年学的知識、認知症の評価に必要な基本的知識、老年期分野に関連する評価で使用頻度の高い尺度を理解することを目的とする。なお、授業は動画も活用して理解し、その後、メディアを通じたフィードバック等により理解を深める。				
授業形式・方法	<input type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	人間の老化に伴う生理学的変化、認知症の基礎知識、認知・ADL等の側面を評価する尺度について授業を展開する。いずれも老年期の作業療法を行う上で欠かせない基本的ポイントのため、講義毎に教科書や配布された資料等を丁寧に読み込み、丁寧に復習することをお勧めする。				
教科書	高齢期作業療法学 第3版 著：松房利憲、新井健五 出版社：医学書院				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	高齢期の一般的特徴、生理的老化について理解し、説明できる。			OT(2)(3)	
②	老年期に生じうる心身の障害について理解し、説明できる。			HSU(3)、OT(2)(3)	
③	認知症の基本的症状および特徴について理解し、説明できる。			OT(2)(3)	
④	老年期で用いる評価尺度について理解し、説明できる。			OT(2)(3)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	高齢期の生理的・身体的特徴を理解する①	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
2	高齢期の生理的・身体的特徴を理解する②	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
3	老年症候群について理解する①	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
4	老年症候群について理解する②	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
5	高齢期の精神的・心理的特徴を理解する 認知症の概略を理解する ①	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
6	高齢期の精神的・心理的特徴を理解する 認知症の概略を理解する ②	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
7	認知症の重症度別特徴を理解する	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
8	認知症をきたす代表疾患と特徴を理解する	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
9	認知症の特徴をまとめる	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
10	高齢期の精神的・心理的特徴に関連した評価について①	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
11	高齢期の精神的・心理的特徴に関連した評価について②	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
12	認知症重症度、行動症状等の評価について①	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
13	認知症重症度、行動症状等の評価について②	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
14	高齢期のADL関連の評価とその技法について①	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
15	高齢期のADL関連の評価とその技法について②	同時双方向型授業	事前学習として教科書の該当箇所を読む。 事後学習は教科書、資料等を深める。	1	
試	定期試験 達成度評価・評価ポイントを参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門科目群/作業療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	100	0	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①	✓	学期末に試験を実施して評価する。試験は、授業で学んだ教科書・配布資料・口頭説明の内容に基づく問題を出題し、理解度を問う。				全体に向けた講評を授業時または Teams 上で行い、必要に応じて対面またはリモート等で個別に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	特になし						
教員の実務経験	担当する教員は作業療法士として 5 年以上の臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	臨床経験を通して得た知見も取り入れて、実際の評価バッテリーを用いて展開する。						
そ の 他	原則、Teams を使った同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など、社会情勢等によって再度シラバスの変更もあり得る。						